

国道307号 ごうのくち（郷之口工区）

概要

一般国道307号は、滋賀県彦根市を起点とし、京都府の南部地域を東西に横断して、大阪府枚方市に至る幹線道路であり、関西文化学術研究都市へのアクセス道路であるとともに、京奈和自動車道や新名神高速道路へ連絡する近畿中部地域の幹線となる道路で、府県間や府内市町村間の交流・連携及び沿道地域の生活や社会経済活動を担う重要な路線である。

新名神高速道路の（仮称）宇治田原インターチェンジにアクセスする道路であり、当工区周辺では、大規模なまちづくり計画も予定されている。

平成29年度は、用地調査・測量を実施する。

◎事業概要

	全体計画	H28までの実績	H29計画
道路事業	事業期間：H28～H35 事業延長：230m 幅員：16.25m 総事業費：9億円	事業概要：用地調査 詳細設計 事業費：11百万円	事業概要：用地測量 事業費：15百万円

◎事業効果

- 府南部地域道路網の横断軸を強化します。
- 新名神高速道路（仮称）宇治田原 IC へのアクセスを確保します。

位置図



現地の状況

